

中央環境審議会水質部会陸域環境基準専門委員会第 6 回資料 3(H12 年 6 月)

水質の汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準の水域
類型の見直しについて

(二次報告)

(案)

平成 12 年 6 月

中央環境審議会水質部会

陸域環境基準専門委員会

生活環境の保全に関する環境基準（案）

政令別表 による名称	水 域	水域類型	達 成 期 間
多摩川水系の 多摩川	多摩川中・下流 (拝島橋より下流)	B	直ちに達成
淀川水系の 猪名川	猪名川下流(1) (箕面川合流点より下流 (藻川を含む)、ただし、 藻川分岐点から藻川合流 点を除く)	B	5年以内で可及的速やかに達成
	猪名川下流(2) (藻川分岐点から藻川合 流点まで)	D	直ちに達成
淀川水系の 神崎川 (大阪府及び兵庫県 に係るもの)	神崎川 (安威川、猪名川を除く 神崎川)	B	5年以内で可及的速やかに達成
那珂川水系の 那珂川	深山ダム貯水池 (深山湖) (全域)	湖沼 A A	直ちに達成
		湖沼 I (窒素を除く)	平成18年までの暫定目標 全燐 0.011mg/l
利根川水系の 鬼怒川	川治ダム貯水池 (川治ダム湖) (全域)	湖沼 A A	平成18年までの暫定目標 COD 2.0mg/l
		湖沼 II	平成18年までの暫定目標 全窒素 0.32mg/l 全燐 0.021mg/l
江の川水系 江の川	土師ダム貯水池 (土師ダム湖) (全域)	湖沼 A	直ちに達成
		湖沼 II	平成18年までの暫定目標 全窒素 0.43mg/l 全燐 0.020mg/l
小瀬川水系 小瀬川	弥栄ダム貯水池 (弥栄湖) (全域)	湖沼 A A	平成18年までの暫定目標 COD 2.6mg/l
		湖沼 II	平成18年までの暫定目標 全窒素 0.32mg/l 全燐 0.010mg/l
	小瀬川ダム貯水池 (小瀬川ダム湖) (全域)	湖沼 A	直ちに達成
		湖沼 II (窒素を除く)	5年を超える期間で可及的速やかに達成

(説明)

1. 水域及び当該類型

1) 多摩川中・下流

利水として水産2級及び水道3級があることから、利水目的を勘案し、B類型とする。

2) 猪名川下流(1)

利水として水産2級があることから、利水目的を勘案し、B類型とする。

3) 猪名川下流(2)

利水として農業用水があり、現況水質を勘案し、D類型とする。

4) 神崎川

利水として工業用水2級があることから、D類型が基本となるが、将来水質予測によりB類型を達成する見込みであることを考慮し、B類型とする。

5) 深山ダム貯水池(深山湖)

COD等については、主要な利水として水道2級及び自然環境保全の自然探勝拠点があることから、湖沼のAA類型とする。

また、窒素・磷については、現況水質を勘案し、磷のみの指定とする。磷については、自然環境保全の利用目的を勘案し、湖沼のI類型とする。

6) 川治ダム貯水池(川治ダム湖)

COD等については、主要な利水として水産1級があることから、利水目的を勘案し、湖沼のAA類型とする。

また、窒素・磷については、主要な利水として水道2級及び水産1種があることから、利水目的を勘案し、湖沼のII類型とする。

7) 土師ダム貯水池(土師ダム湖)

COD等については、主要な利水として水産2級があることから、利水目的を勘案し、湖沼のA類型とする。

また、窒素・磷については、主要な利水として水産1種があることから、利水目的を勘案し、湖沼のII類型とする。

8) 弥栄ダム貯水池(弥栄湖)

COD等については、主要な利水として水産1級があることから、利水目的を勘案し、湖沼のAA類型とする。

また、窒素・磷については、主要な利水として水産1種及び水道2級があることから、利水目的を勘案し、湖沼のII類型とする。

9) 小瀬川ダム貯水池(小瀬川ダム湖)

COD等については、主要な利水として水産2級があることから、利水目的を勘案し、湖沼のA類型とする。

また、窒素・磷については、現況水質を勘案し、磷のみの指定とする。磷については、主要な利水として水産1種があることから、利水目的を勘案し、湖沼のII類型とする。

2. 達成期間

1) 多摩川中・下流

多摩川中・下流の現状水質は、B類型を達成しており、水質の将来予測の結果も良好であることから、達成期間は「イ 直ちに達成」とする。

2) 猪名川下流(1)

中園橋における現状水質は、B類型を達成していないが、水質の将来予測の結果、所要の施策を行った場合、5年以内にはB類型を達成することが見込まれるため、達成期間は、「ロ 5年以内で可及的速やかに達成」とする。

3) 猪名川下流(2)

利倉橋の現状水質は、D類型を達成しており、水質の将来予測においても達成が見込まれるため、達成期間は「イ 直ちに達成」とする。

4) 神崎川

神崎川の現状水質は、新三国橋においては、B類型を達成していないが、水質の将来予測の結果、所要の施策を行った場合、5年以内にはB類型を達成することが見込まれるため、達成期間は「ロ 5年以内で可及的速やかに達成」とする。

5) 深山ダム貯水池(深山湖)

CODの現状水質は、湖沼のAA類型を達成していることから、達成期間は「イ 直ちに達成」とする。

また、磷については、将来水質についても達成する見通しがないため、段階的に、暫定目標を達成しつつ環境基準の可及的速やかな達成に努めることとし、達成期間は「ニ 平成18年までの暫定目標 全磷 0.011mg/l」とする。

6) 川治ダム貯水池(川治ダム湖)

CODの現状水質は、湖沼のAA類型を達成していないため、段階的に暫定目標を達成しつつ、環境基準の可及的速やかな達成に努めることとし、達成期間は「ニ 平成18年までの暫定目標 COD2.0mg/l」とする。

また、窒素・磷については、将来水質においても達成する見通しがないため、段階的に、暫定目標を達成しつつ環境基準の可及的速やかな達成に努めることとし、達成期間は「ニ 平成18年までの暫定目標 全窒素 0.32mg/l 全磷 0.021mg/l」とする。

7) 土師ダム貯水池(土師ダム湖)

CODの現状水質は、湖沼のA類型を達成していることから、達成期間は「直ちに達成」とする。

また、窒素・磷については、将来水質においても達成する見通しがないため、段階的に、暫定目標を達成しつつ環境基準の可及的速やかな達成に努めることとし、達成期間は「ニ 平成18年までの暫定目標 全窒素 0.43mg/l 全磷0.020mg/l」とする。

8) 弥栄ダム貯水池(弥栄湖)

CODの現状水質は、湖沼のAA類型を達成していないため、段階的に暫定目標を達成しつつ、環境基準の可及的速やかな達成に努めることとし、達成期間は「ニ 平成18年までの暫定目標 COD2.6mg/l」とする。

また、窒素の現状水質においても、湖沼の類型IIを達成していないことと、磷の現状水質は、湖沼のII類型を達成しているものの、将来水質の見通しにおける将来発生負荷量を考慮し、所要の施策を講ずることにより、段階的に暫定目標を達成しつつ、環境基準の可及的速やかな達成に努めることとし、達成期間は「ニ 平成18年までの暫定目標 全窒素 0.32mg/l 全磷 0.010mg/l」とする。

9) 小瀬川ダム貯水池 (小瀬川ダム湖)

CODの現状水質は、湖沼のA類型を達成していることから、達成期間は「イ 直ちに達成」とする。

また、磷の現況水質は、湖沼のII類型を達成しているが、将来水質の見通しにおける将来発生負荷量が現況に比べ増加することが見込まれることから、所要の施策を講ずることとし、達成期間は「ハ 5年を超える期間で可及的速やかに達成」とする。